

走行データ比較方法

F-PON（フォーミュラ・ニッポン）の松田次生選手のテスト走行データと、ご自身の走行データとの比較方法

1. ダウンロード後、解凍した各データを指定フォルダにコピーする。

■走行データ

データ名 FSW_100R_FPON_TEST.dtb

コピー先フォルダ C¥Program Files¥DigSpice¥Data


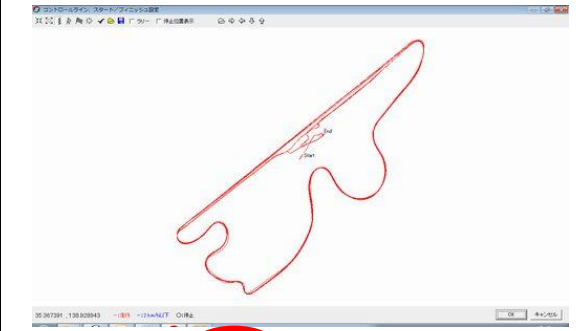
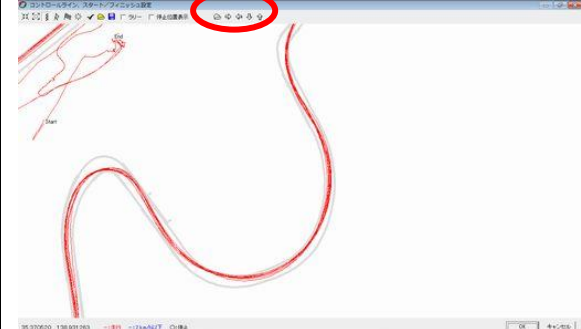
■スタートフィニッシュデータ

データ名 FSW_100R_FPON.cln

コピー先フォルダ C¥Program Files¥DigSpice¥Contolline

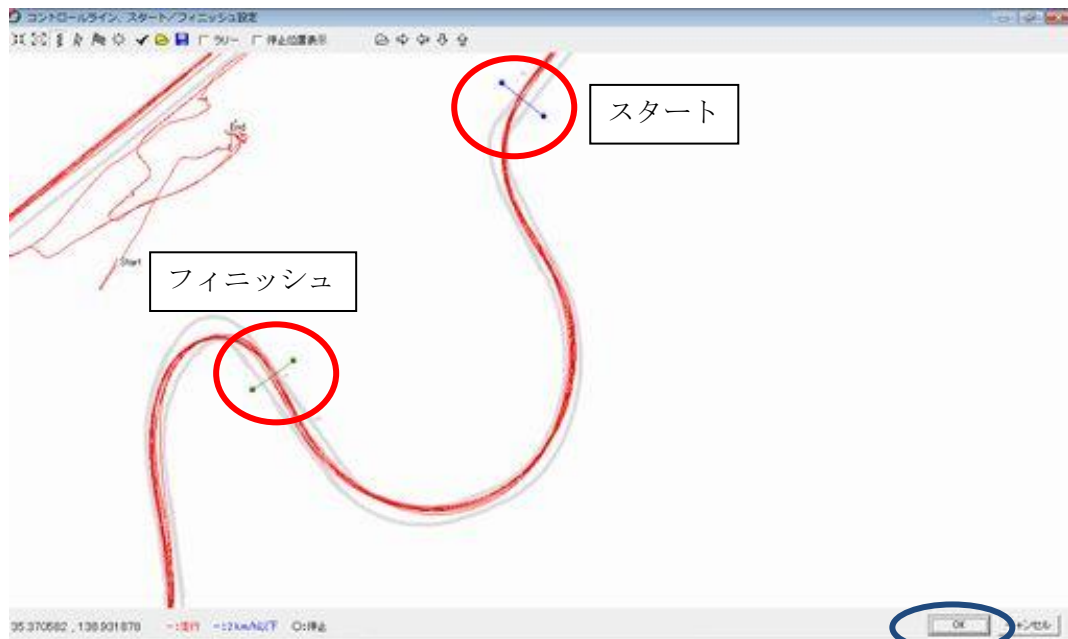
2. デジスパイスプログラムを立ち上げる

富士スピードウェイを走行したご自身のデータを読み出す

	【保存済み GPS ログ読み込】 で、ご自身の走行データを読み込む
	走行データが表示される。
	コース図を表示させ、矢印キーで走行データとコース図を合わせる

【コントロールライン、スタート/フィニッシュ読込】で、先ほどコピーした FSW_100R_FPON.cln を読込む

スタートとフィニッシュラインが表示される。



右下の OK を押すと、スタートフィニッシュ間の 100R 近辺のデータが表示される。

3. F-PON のデータの読み出し

【走行データ読込】で、先ほどコピーした FSW_100R_FPON_TEST.dtb を読み込む

データ名	データ番号	日付	時刻	タイム	最高速 km/h	キロ km
TEST	0000	2010/04/18	09:35:50	017.895	155.95	0.67
TEST	0001	2010/04/18	09:37:51	016.239	165.30	0.67
TEST	0002	2010/04/18	09:39:47	016.147	163.93	0.67
TEST	0003	2010/04/18	09:41:41	016.055	162.61	0.67
TEST	0004	2010/04/18	09:43:39	016.109	164.90	0.67
TEST	0005	2010/04/18	09:45:34	017.177	153.56	0.67
TEST	0006	2010/04/18	09:51:24	016.480	163.43	0.67
TEST	0007	2010/04/18	09:53:19	016.473	168.15	0.67
TEST	0008	2010/09/18	09:55:14	016.407	157.86	0.67
FSW_100R_FPON_TEST	0009	2011/11/29	15:26:37	011.342	239.41	0.67

一番下に、FSW_100R_FPON_TEST が追加される。

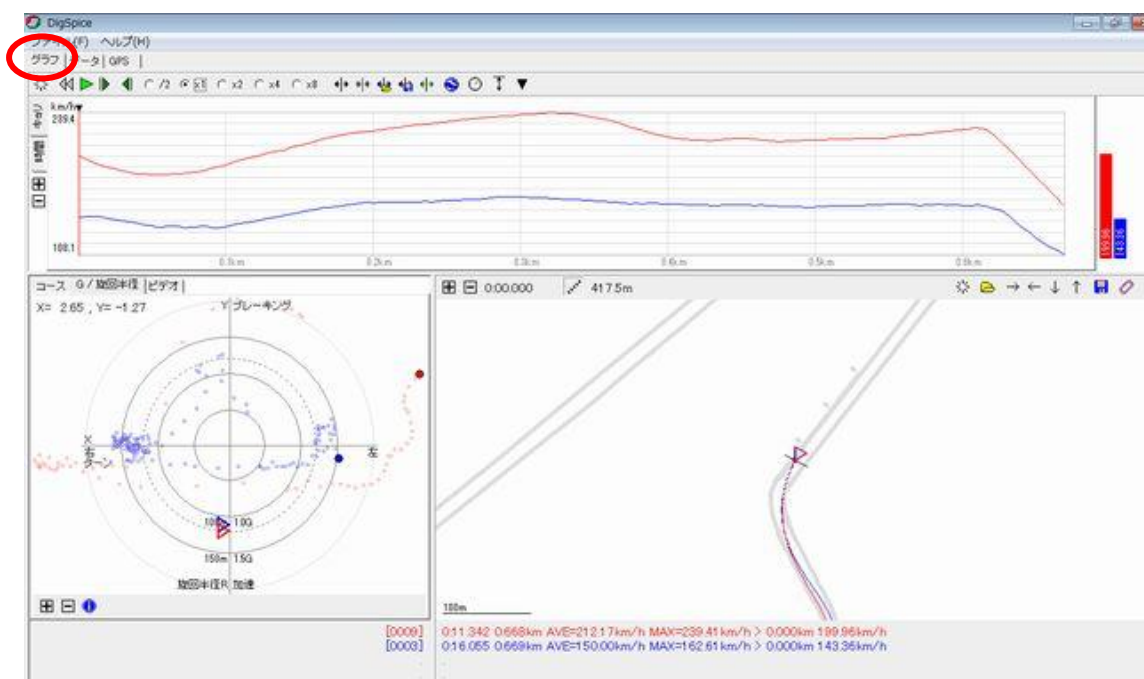
4. データ解析

F-PON データと比較したいデータを選択して、【グラフ】タブへ移動する。

DigSpice						
ファイル(F) ヘルプ(H)						
グラフ データ GPS						
※ [Icons]						
データ名	データ番号	日付	時刻	タイム	最高速 km/h	キヨリ km
TEST	0000	2010/04/18	09:35:50	0:17.895	155.95	0.67
TEST	0001	2010/04/18	09:37:51	0:16.239	165.30	0.67
TEST	0002	2010/04/18	09:39:47	0:16.147	163.93	0.67
TEST	0003	2010/04/18	09:41:41	0:16.055	162.61	0.67
TEST	0004	2010/04/18	09:43:39	0:16.109	164.90	0.67
TEST	0005	2010/04/18	09:45:34	0:17.177	153.56	0.67
TEST	0006	2010/04/18	09:51:24	0:16.480	163.43	0.67
TEST	0007	2010/04/18	09:53:19	0:16.473	168.15	0.67
TEST	0008	2010/04/18	09:55:14	0:16.407	157.96	0.67
FSW_100R_FPON_TEST	0009	2011/11/29	15:26:37	0:11.342	239.41	0.67

5. 解析画面表示

F-PON と比較対象のデータが同時に表示されている。



注意：G/旋回半径表示部は初期表示範囲のままだと、F・PON データの最大 G が表示されません。□またはマウスホイールで表示範囲を広げ全体が表示できるようにしてください。

